

モンゴル事務所ニュースレター 2019年10月号

トップニュース

モンゴル初の大学病院である日本モンゴル教育病院で診療を開始しました。



10月1日、ウランバートル市において無償資金協力により整備された日本モンゴル教育病院の診療開始式典が開催され、外来診療を開始しました。式典にはジャンバスレン保健副大臣、モンゴル国立医科大学ツォルモン学長他、多くの関係者と地域住民の方が参加しました。副大臣からは日本式の病院マネジメントによる高度医療提供への期待が示され、日モ両国の友好関係においても歴史的な日になったと挨拶されました。現在はまだ部分的な診療に留まりますが、次の段階である入院病棟や救急部門のオープンに向け、JICA は引き続き技術協力プロジェクトにより支援していきます。

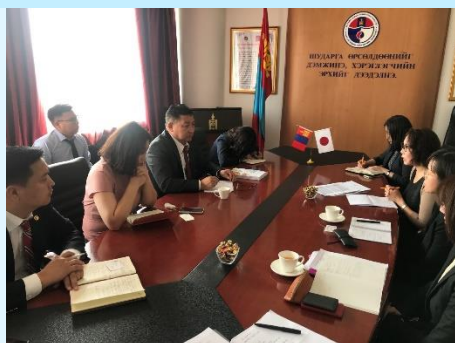
プロジェクトの動き

信号制御のパイロット事業を開始しました。



「ウランバートル市大気汚染対策能力強化プロジェクト（PJ）フェーズ3」では、UB市で深刻な問題となっている自動車排気ガスの削減を目的として、信号制御のパイロット事業を開始しました。UB市内では、2010年に導入された信号制御システムが使われていますが、実際の交通量や交通状況に合わせた設定がなされていないのが現状です。本PJでは、2019年9月に交通現象調査を実施し、その結果をもとに最適な信号の灯火時間を設定し直し、実証を行っています。今後は、UB市交通管制センター職員への技術指導も行い、信号制御改良案を作成して他の地点にも拡大する予定です。

「公正競争環境改善PJフェーズ2」詳細計画策定調査のM/Mが署名されました。



10月1日に、モンゴル公正競争・消費者保護庁（AFCCP）をカウンターパートする「公正競争環境改善PJフェーズ2」詳細計画策定調査のM/M署名が行われました。2015年から2018年まで実施されたフェーズ1では、競争法改正案に係る助言及びAFCCP検査官の能力強化のための協力を実施しました。フェーズ2では、2020年以降の改正競争法の施行を見据え、規則策定支援や検査官等の競争法執行関係者の能力強化、国民啓発等を行い、モンゴル市場における公正かつ自由な競争の促進を目指すものです。なお、先般の台風19号（ハギビス）を心配下さったAFCCP長官に対し、心より感謝申し上げます。

皮革産業振興セミナーを開催しました。



10月22日、モンゴル日本人材開発センターにて皮革産業振興セミナーが開催され、70名以上の方々が参加しました。本セミナーは、来年1月に始まる「農牧業バリューチェーンマスタープランPJ」のプレイベントとして、日本から山口産業（株）の山口社長をお招きし、同社のラセッターなめし技術を活用したモンゴル皮革産業の可能性について発表頂いたほか、モンゴル皮革産業の現状と課題（協会会長）、日本センター事業の紹介（中村専門家）等が行われ、参加者から多くの質問が寄せられました。

業務改善マニュアル作成に係る最終研修を実施しました。



社会保険実施能力強化PJでは、9月30日から10月10日まで、業務改善マニュアル作成に係る最終研修が社会保険庁で行われ、23名の社会保険庁及びウランバートル市内社会保険事務所の職員が研修に参加しました。プロジェクト開始以降、研修体系構築や研修講師養成に関する研修も実施しております。今後は業務改善マニュアルを完成させ、年明けに発行する予定です。

モンゴル日本人材開発センターの中村専門家、在外公館長の授賞！



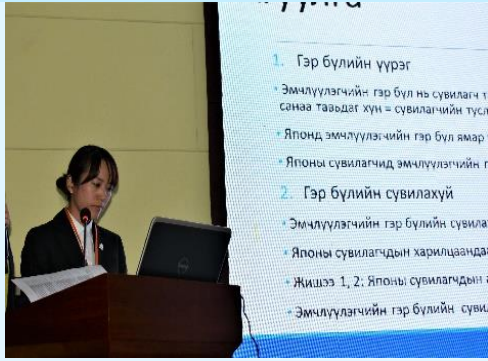
10月17日、「モンゴル日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流拠点機能強化PJ」の中村功専門家（ビジネス交流支援専門家）が在モンゴル日本大使館から在外公館長賞を授与されました。8月にモンゴルで初めて開催されたジャパンフェスティバルなど、これまで日本とモンゴルの友好親善に寄与された業績が認められたものです。中村専門家、おめでとうございます！

モンゴル科学技術大学の学生向けに、JICA 出前講座を実施いたしました。



10月10日、モンゴル科学技術大学の建築学部の学生向けに、出前講座を実施しました。本講座には、29名の学生が参加し、5つのチームに分かれ、「自分がJICAの職員だったら、ゲル地区開発のためにどのようなプロジェクトを実施するか」というテーマでディスカッションし、各グループによる発表頂きました。各グループの発表後に、JICAモンゴル事務所職員から、これまでにゲル地区開発分野で実施してきたプロジェクトの概要及びJICAで働くことの魅力を紹介しました。

ボランティア活動紹介 1 (国際看護学会で JICA 海外協力隊員が発表しました)



10月8日にウランバートル市で看護倫理をテーマにした国際看護学会が開催され、石崎菜実子隊員(2017年度3次隊、看護師)が発表しました。『患者のみならず、その介護を担う患者家族に対する気遣い・説明・指導』は看護師に求められる役割のひとつであること、患者の家族は看護のプロでも看護師の助手でもなく、むしろ看護師のケアの対象者であること、家族を含め包括的に患者を看ることが看護プロフェッショナルの役目であること、看護師は看護のプロフェッショナルとしての意識を持たなければならないこと等、日本の看護を紹介しつつ、約150名の聴衆に対して家族看護について考えるきっかけを与える発表となりました。

ボランティア活動紹介 2 (モンゴル初「科学作品コンクール」の開催！)



ドルノゴビ県サインシャンドにて、佐藤恵理子隊員(2018年度3次隊、小学校教育)の発案により、モンゴル初めての「科学作品コンクール」が開催されました。学校の夏休み中に、小学校4・5年生を対象に、身近なテーマについて自ら実験や観察を行い、1枚の紙にまとめた作品を募集しました。初めての試みにも関わらず、市内3校から227点の作品が寄せられました。新鮮な卵の見分け方、葉の落ちる速さ、色々な形の糸電話など、子どもたちが見つけたテーマは様々。10月1日～31日には、サインシャンド内の総合福祉施設ソヨンボにて展示会が開催され、10月19日には同会場にて表彰式が行われ、受賞した子どもたち17人にメダルや日本のこまなどが贈られました。



研修・帰国研修員同窓会

帰国研修員同窓会による植林活動が開催されました。



10月12日、帰国研修員同窓会主催で自然環境保全と緑化推進を目的とした植林活動がウランバートル市バインズルフ区に位置する国立公園において開催されました。当日は、一般会員やJICAモンゴル事務所員等52名が参加し、国立公園の専門家の指導のもと、チャツアールガンの木80本を植えました。今年も家族連れでの会員が多く参加し、有意義で楽しい一日となりました。

事務所ナショナルスタッフが日本語で執筆！

独立行政法人 国際協力機構 モンゴル事務所
Bodi Tower 7th Floor, Sukhbaatar Square 3, Ulaanbaatar, Mongolia
Tel:+976-325939, 311329/Fax:+976-310845/E-mail: mg_oso_rep@jica.go.jp
Web: www.jica.go.jp/mongolia/index.html/FB: [JICA Mongolia](https://www.facebook.com/JICA.Mongolia)